

# おらほの会社

## 奥山ボーリング (株) の巻



齋藤 薫

### 1. おらほの会社

当社は、先代社長の故、奥山諒蔵が昭和21年に興した「奥山工業所」が始まりで、昭和34年に法人化され今日に至っております。従って創業から数えて68年になります。

現社長は、昭和63年に先代から引き継いで社長となり、着実に社業規模を拡大してきました。現在、(一社)斜面防災対策技術協会会長を務めております。

雪国を代表するメルヘンの世界「かまくら」の地、秋田県横手市に本社を置き、東北各地に支店・営業所を、技術開発室を東京に置いております。



本社前かまくら  
(奥のテント内では呑み助たちが・・・)

建設コンサルと建設関連工事の二部門で営業しておりますが、これら二部門の技術者が連携して適切・効果的な斜面・地すべり対策工を提供しようと日夜、業務に精励しているところです。

各種学会には継続的に研究論文を投稿、発表しており、当社の知名度を向上させるのに役立つと思い推奨しております。更に、これを継続することによって技術力が向上し、技術者としての自信に繋がる効果を生んでいます。

また、JICA への協力も積極的に行っており、これまでにインドネシア、ネパールへ地すべり対策の技術指導者を派遣しており、最近ではベトナムへ地すべり調査の技

術者を数名派遣し、地すべり調査・設計・解析業務及びボーリングの技術指導を続けています。



ベトナムでの地すべり調査  
(世界遺産ハロン湾を望む)



ベトナム DOT  
(日本の都道府県に相当)との打合せ

平成23年には、アフリカのマラウイ共和国の農業・灌漑・水資源開発省から水井戸119本とハンドポンプ設置工事を受注し、飲料水に不自由している方々のお役に立つことが出来ました。



マラウイでの保護管材料検収  
(ギャラリーがいっぱい)



マラウイでの水井戸使用状況  
(専務もにっこり)

紹介したいことは、まだ沢山ありますが紙面が足りませんので、詳しくはホームページをご覧ください。

## 2. 横手市の紹介

当社社長は、横手商工会議所会頭、横手市観光連盟会長の職にもありますので、横手市を簡単にご紹介させていただきます。

本市は、秋田県の県南地域に位置し、東の奥羽山脈、西の出羽丘陵に囲まれた横手盆地のほぼ中央にあり、総面積は秋田県の約6%を占めています。

気候は、盆地であるため、一日の気温較差が大きく風はあまり強くないという特徴があり、典型的な積雪寒冷地で昭和49年には積雪250cmを越す豪雪を記録しています。多量の雪は、人が生活するには煩わしく感じるものですが、反面、横手市の環境に潤いをもたらす貴重な水資源、雪文化を育む源となっております。

平成17年に8市町村合併により、人口では10万人を越え秋田県で第2の都市となっております。

特産品として、横手のB級グルメといえは「横手やきそば」、大沢地区のぶどう農家が丹精込めてつくったぶどうジュースなどがあり、横手のお祭りとしては、夏は「よこての全国線香花火大会」、「横手の送り

盆祭り」、冬は400年以上の歴史を持つ雪国秋田を代表する「かまくら」が有名です。



横手城のかまくら(2月14日~16日)

## 3. おわりに

先行き不透明な中でも生き残りをかけて、「顧客の満足する最良の成果品を提供する」をモットーに常に改善を怠らず、存在価値のある企業作りに努め社会に貢献して参りました。これからも、当協会の発展の一翼を担えるよう技術力の向上に努め、日々努力していきたいと考えております。

横手に来られた際は、是非当社にお立ち寄りください。「奥山さんには、かわいい子がたくさんいる」と、誰もが口にする秋田美人たちが、受付でお待ちしております。(あえて受付嬢の写真は付けません)



本社社屋